

第 91 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
KDDI 株式会社への追加質問及び回答
(移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証関係)

※赤枠は構成員限り

問 1 営業費相当額の算出方法について、直近 5 年間の平均値により算出することに一定の合理性があるとしても、直近 3 年間の平均値又は 6 年間の平均値により算出することについても同様に一定の合理性があると考えられる。3 年間の平均値や 6 年間の平均値を用いるのではなく、5 年間の平均値を用いることがより合理的と考える場合、その根拠を論理的に説明していただきたい。

(佐藤構成員)

(KDDI 回答)

営業費相当額については、できる限り最新のデータに基づき算出することが望ましいと考えますが、一般的に、対象期間を短くすればするほど、直近の状況を反映しやすいメリットが生じる一方、短期的な変動に影響されやすくなるデメリットが生じます。逆に、対象期間を長くすればするほど、短期的な変動に影響されにくくなるメリットが生じる一方、直近の状況を反映しにくくなるデメリットが生じると考えます。

固定通信分野のストックテストにおける営業費相当額の基準値についても 2016 年～2020 年の 5 年間の平均値に基づき見直しが実施されていることから、直近の状況を反映しつつ、データの変動を平滑化し、異常値や一時的な変動の影響を軽減することができるデータとして 5 年間の平均値を用いることは、一定の合理性があると考えております。

そのため、直近 5 年間の平均値に替えて、直近 3 年間又は 6 年間の平均値を用いることが、より合理的である明確な理由がない限りは、現状の直近 5 年間の平均値を用いることで問題ないと考えます。

問2 povo2.0 (360GB/365日) について、

- (1) 「必ずしも12ヶ月間平均的にデータを利用されるわけではなく、数ヶ月で使い切る利用者が存在している」と30GB/月プランとの競合プランではないとする説明がよく分からない。12ヶ月間平均的にデータを使うユーザーがどの程度の割合であれば競合的と言えるのか。貴社の主張の前提となる理屈についてデータを示して説明いただきたい。
- (2) 1ヶ月当たりの料金に換算して比較すべきでないとすれば、どのような基準で換算し比較すべきと考えるか。
- (3) 様々な使い方をする利用者がいるということだけで、スタックテストの対象にならないと言えるのか。

(佐藤構成員)

(KDDI 回答)

- (1) povo2.0 360GB/365日のプラン(税抜24,000円)は単純に1ヶ月換算すると月2,000円/30GBとなりますが、MVNO等が提供する一般的な月額プランと異なるのは、1ヶ月30GBを超えて利用できる点です。実際に、2024年11月の利用実績(*1)では同プラン契約者の内、 が30GBを超えて利用しております。

このようなユーザーは、povo2.0 360GB/365日のプランを上限30GB/月のプランとは考えていない可能性が高く、例えば、60GB/月利用するユーザーであれば、月4,000円/60GBのプランと捉え(6ヵ月で360GBを使い切るために、6ヵ月毎に360GB/365日のプランを購入)、競合プランは上限60GB/月プランや無制限プランと捉えている可能性があるためです。

そのため、単純に1ヵ月換算した上限30GB/月のプランの競合とはいえないと考えます。

(*1) 当該プランは2024年10月18日から提供開始しているため、11月分の実績を提示。

- (2) povo2.0 360GB/365日プランについて、毎月同程度の利用量が継続すると仮定した場合、例えば、40GB/月程度の利用で月額2,667円(*2)、60GB/月程度の利用で月額4,000円(*3)となります。
30GB/月を超える利用実態があるにも関わらず、利用者料金は月額換算

の 30GB 相当の 2,000 円とし、接続料相当額は 30GB を超えて利用したユーザーも含め、全ユーザーの平均使用通信量で算定した場合、利用者料金と接続料相当額の算定方法について平仄が取れておらず、問題だと考えます。

そのため、当該プランを「上限 30GB/月、月額 2,000 円」のプランと見做して検証することは適切ではないと考えます。

仮に、利用者料金を月額相当額の 2,000 円/30GB に換算して検証する場合には、上限 30GB/月プランでは発生し得ない月 30GB を超える利用分を除外した上で月間の平均使用通信量を算出し、接続料相当額を算定することが必要と考えます。

(*2) $360\text{GB} \div 40\text{GB} = 9$ ヶ月、 $24,000 \text{ 円} \div 9 \text{ ヶ月} = 2,667 \text{ 円/月}$

(*3) $360\text{GB} \div 60\text{GB} = 6$ ヶ月、 $24,000 \text{ 円} \div 6 \text{ ヶ月} = 4,000 \text{ 円/月}$

- (3) 上述のとおり、povo2.0 360GB/360 日プランは様々な使い方が可能であり、1 ヶ月間で 30GB を超過して利用することが可能なプランであるため、(1) 記載のとおり、上限 30GB/月のプランの競合ではないと考えます。

仮に、当該プランを上限 30GB/月プランの競合としてスタックテストの対象とする場合、(2) 記載のとおり、検証時にデータの補正（月 30GB を超える利用分を除外した上で月間の平均使用通信量を算出）が必要と考えます。

以上